



2016.10.1 Sat.14:00

茨木クリエイトセンター・センターホール

DENTŌ-GEINŌ DEAI no TSUJI

伝統芸能出逢辻



野坂操壽



中川 桂



林家染雀



横山佳世子



飛山百合子



林家染左



林家染二



林家染丸

■演目 / 監修・総監督：林家染丸

〈解説〉「見どころ聴きどころについての豆知識」中川 桂

【第一部】〈落語〉「池田の猪買い」林家染左

〈落語〉「べかこ」林家染雀

【第二部】〈座談〉中川 桂 (司会) / 野坂操壽 / 林家染丸 / 林家染雀

【第三部】〈地歌〉「黒髪」柳川三味線：飛山百合子

〈地歌〉「八島」箏：野坂操壽 / 三絃：横山佳世子

【第四部】〈解説〉中川 桂

〈伝統芸能出逢辻〉「しじみ売り」箏：野坂操壽 / 落語：林家染二

三味線：はやしや律子 / 鳴り物：林家愛染

地歌と落語

上方落語の“はめもの”に登場する
“お囃子”にスポットをあて
そこに用いられる“地歌”の歴史を
実演をとおして わかりやすく紐解きます

各界第一人者の共演でおおくりする
“地歌”と“落語”のクロスロード
伝統芸能の魅力あふれる
出逢いの辻！

野坂操壽 (のさか そうじゅ)

加藤柔子に古典箏曲・地歌三絃を師事。東京藝術大学邦楽科修士課程修了。1969年に二十絃箏、1991年に二十五絃箏を制作。2002年芸術選奨文部科学大臣賞、2003年紫綬褒章、2011年日本藝術院賞、2015年文化功労者。古典の継承と同時に、二十五絃箏のための委嘱初演を続けている。現在、桐朋学園芸術短期大学特別招聘教授、公益社団法人日本三曲協会常任理事。

横山佳世子 (よこやま かよこ)

10歳より沢井忠夫に生田流箏曲および現代邦楽を師事。東京藝術大学邦楽科修士課程修了。1993年NHK邦楽オーディション合格。2001年大阪府舞台芸術奨励新人賞。2005年文化庁新進芸術家国内研修生。2008年京都市芸術文化特別奨励者、文化庁芸術祭賞新人賞。2012年文化庁芸術祭賞優秀賞、京都市芸術新人賞。現在、古典から二十五絃箏も含めた現代音楽まで、幅広いレパートリーを持ち国内外にて積極的に演奏、教授活動を行う。鳴門教育大学非常勤講師。

飛山百合子 (とびやま ゆりこ)

京都市生まれ。地歌箏曲演奏家、三絃奏者。京都大学文学部卒。NHK邦楽技能者育成会第27期卒。地歌箏曲家としての研鑽をつむその一方で、古典芸能全般についての研究、演奏にも意欲的に取り組んでいる。「四季のコンサート」ならびに「百合和会(京都・長崎)」を主宰。京都當道会、京都三曲協会、やなみ会、上方落語協会に所属。芸名飛山彰茶、はやしや京子。

林家染丸 (はやしや そめまる)

1949年生まれ。1966年三代目林家染丸に入門して染二。1991年に四代目染丸を襲名。上方の林家一門を率いて落語の活動をするかたわら、寄席囃子の後継者も育成、現在7名が「はやしや」を冠するプロのお囃子三味線奏者として活躍している。1989年第18回上方お笑い大賞金賞、1990年大阪文化祭奨励賞、1991年第42回芸術選奨文部大臣新人賞、1994年第49回芸術祭賞、2006年第61回芸術祭芸部門大賞、2008年大阪市民表彰、2009年第61回芸術選奨文部科学大臣賞、2012年紫綬褒章。著書に『上方落語 寄席囃子の世界』(創元社)。本年は噺家生活50年、染丸襲名25年にあたり、一門を挙げて記念落語会を毎月天満天神繁昌亭にて開催中。時代は変わっても、落語の笑いに人間味のある間は、落語は生き続けるだろう。その伝統を守るひとりとして、誇りと幸せを感じている。

中川 桂 (なかがわ かつら)

大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)。大阪大学文学部助手等を経て、現在二松学舎大学文学部准教授。専門は近世芸能興行史、寄席芸能史。著書に『江戸時代落語家列伝』(新典社)、『落語の黄金時代』(共著、三省堂)ほか。上方落語の内容や時代背景等を解説し、弟の林家染左が実演する「中川兄弟落語かれっじ」を2007~2010年に開催。現在大阪府池田市の正福寺で「仏教落語かれっじ」講師を担当。

林家染二 (はやしや そめじ)

1984年四代目染丸(当時染二)に入門。1997年三代目林家染二を襲名。1998年、2004年文化庁芸術祭優秀賞。2008年第二回天満天神繁昌亭大賞を受賞し、天満天神繁昌亭定席のトリを務める。2014年公益社団法人上方落語協会理事に就任。2012年から落語家で初めて京都大学にゲスト講師として招聘される。

林家染雀 (はやしや そめじゃく)

1967年八尾市生まれ。大阪大学文学部卒。1992年四代目染丸に入門。習い事が好きで日本舞踊は藤間流、長唄は今藤流、茶道は裏千家。趣味は海外放浪。女流落語家の桂あやめと音曲漫才『姉様キングス』のユニットも組んで、国内外で活動中。落語は歌ったり踊ったりする芝居音曲系の噺を好んで取り組み、寄席の踊りも得意としている。2000年大阪文化祭奨励賞、2001年第39回なにわ芸術祭新人賞等。

林家染左 (はやしや そめざ)

宝塚市生まれ。大阪大学文学部卒。泉佐野市に学芸員として勤務、郷土資料館(歴史館いずみさの)開設準備にあたる。1996年同市を退職、四代目染丸に入門。落語はもとより、寄席囃子や日本舞踊など幅広く研鑽を積んでいる。小中高等学校の特別講師など教育関係にも尽力。2007年第44回なにわ芸術祭新人賞、2014年兵庫県芸術奨励賞、2015年宝塚市市民文化賞。大阪府立東住吉高等学校芸能文化科非常勤講師。

DENTŌ-GEINŌ DEAI no TSUJI

平成28(2016)年10月1日 [土] 14:00開演 (13:30開場)

茨木市市民総合センター(クリエイトセンター) センターホール 茨木市駅前四丁目6番16号 ☎072-624-1726

[全席指定] 一般3,000円/65歳以上、障害者及びその介助者2,500円/青少年(24歳以下)1,000円

◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き(この取り扱いは財団のみです) *就学前のお子様はご遠慮ください。

7月11日[月] 9:00予約開始

財団の発売初日はインターネット・電話予約のみです。残席がある場合は翌日から窓口販売いたします。

■チケットのお申込み・お問合せ

茨木市文化振興財団・文化事業係 072-625-3055 (9:00~17:00) / インターネットチケット www.ibabun.jp

財団の発売初日はインターネット・電話予約のみです。予約後は1週間以内に下記のチケットカウンターでご精算ください。チケットの引取り・窓口販売は発売翌日からです。

インターネット予約については、コンビニ(セブンイレブン、サークルK、サンクス)でご精算・受取りいただけます。

◎クリエイトセンター1階チケットカウンター(9:00~17:00) ◎福祉文化会館3階チケットカウンター(9:00~17:00)

*予約チケットの郵送をご希望の場合は、(チケット料金+郵送手数料400円)を郵便局備え付けの「払込取扱票」でお支払いください。

手数料はご負担願います。払込確認後の発送となります。(払込口座) 00970-7-190576 / 加入者名: 茨木市文化振興財団

■その他プレイガイド(初日店頭販売あり 10:00~)

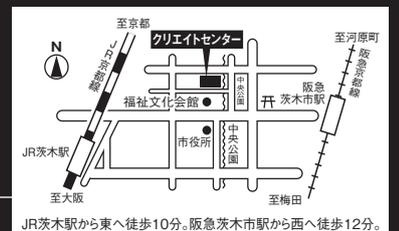
ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター対応)・Lコード予約 0570-084-005 (Lコード 56862) http://l-tike.com

*ローソンチケットの取り扱いチケットは、ローソン、ミニストップ各店舗で直接購入できます。

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 451-062) http://pia.jp/t/

*チケットぴあの取り扱いチケットは、セブンイレブン、サークルK、サンクス各店舗で直接購入できます。

■主催: 公益財団法人茨木市文化振興財団 ■制作: 四季のコンサート ■後援: 茨木商工会議所/茨木市観光協会



JR茨木駅から東へ徒歩10分。阪急茨木市駅から西へ徒歩12分。